

# 学校法人 日本芸術学園

## 日本芸術専門学校

# 2020 年度 学校関係者評価

## 報告書

### 目次

I. 教育理念・目的・人材育成像	1・2
II. 学校運営	2～8
III. 教育活動	9～18
IV. 学修成果	19・20
V. 生徒・学生支援	20～24
VI. 教育環境	25～29
VII. 生徒募集	30
VIII. 財務	30
IX. 法令等の遵守	31
X. 社会貢献・地域貢献	31
XI. 国際交流	31・32

## I. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
1-1 学校の教育理念・目標の設定	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切だと思います。継続を望みます。</li> <li>・掲げた理念、目標などが現実になお一層具体的に感じられるよう望みます。</li> <li>・年々、生徒の質もあがり、学ぶ姿勢や卒業後の活躍の場等もとても良くなってきていると思う。 惜しむらくは、通常授業の日数が少ないのと、イベントや公演の比重が大きく、基礎の大切さが浸透するのが2年後期頃にやっと…というのが、非常にもったいないと思う。</li> <li>・端的で分かりやすい教育理念で良い。ただ2つのミッションについては内容が伝わり難い気がする。</li> <li>・理念ならびに目標の体現に向けて、実情の更なるレベルアップを図ることが求められると考えます。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
1-2 時代、社会、学習者のニーズへの適合	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としては適確だと思うが、「幅広いスキルを身につける」迄を実現できているところに達するには、もっと深く時間をかけて求めるべきだと思う。</li> <li>・この分野の学校への社会的なニーズというは難しいですが、逆に守り抜く部分も大事にされることが、学習者のニーズに繋がることもあるかと思えます。</li> <li>・ここ近年、学校運営や環境、システム等、様々な面で改良しているのがわかるので、適切と思う。</li> <li>・実際にプロとして前線で活躍している人物を指導者として招き、クラス分けやカリキュラムの変更等も実施されているので、ほぼ適切に行われていると思う。</li> <li>・「ニーズ」=授業科目を増やすことではなく、個々のニーズに応じていくことが(どの校舎、どんな学校でもそうですが)今後の課題と言えらると思えます。個別最適化により校舎側、職員の負担が増えても続かないのでとても難しいですが、効率化を図る必要があります。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
1-3 定期的な点検、見直しの実施（時期・方法・組織）	4 (4名) 3 (2名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・良いと思います。</u> <u>・頻繁に変更するものでもないと思うので、ある程度の周期を決めて見直しをしても良いかと思います。</u> <u>・通常授業の少なさ、演技基礎授業の少なさが気になる。</u> <u>・必要な際に適宜行うとのことで、見直しの会議が行われているかどうかやや分かり難くなっている気がする。</u> <u>・見直しの具体的な実施が素晴らしいと思います。参考にさせていただきます。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
1-4 教育理念・目標の教職員・生徒・学生等への浸透方法、浸透度	4 (4名) 3 (2名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・スピード感を持って方法などについて具体化されることを期待致します。</u> <u>・日常から目につく場所に掲出しても良いと思います。</u> <u>・特に問題ないと思います。</u> <u>・一方的な発信となっている印象ではあるが、入学式等で説明する等の活動は評価できるように感じる。</u> <u>・認知度の先の部分をご記載の通り今後の課題であると思います。</u>		

## II. 学校運営

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-1 役員の選定の基準の適正さ	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・特に不明点もなく、良いと思います。</u> <u>・適正に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-2 理事会、評議員会の開催状況	4 (7名)	3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)
	平均 4点	
委員コメント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>適正だと思います。</u></li> <li>・ <u>計画に従い、適切に行われているように感じる。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-3 寄附行為の定期的な点検と見直し	4 (5名)	3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)
	平均 3.7点	
委員コメント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>詳しい内容が分からないのですが、見直しを必要に応じてしていければ良いと思います。</u></li> <li>・ <u>法改正に伴い大幅な見直しを行う等、適切に行われている様に感じる。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-4 事務組織の明確化	4 (4名)	3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)
	平均 3.6点	
委員コメント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>組織図を学外者が閲覧出来ない為、必要であればHP等に公開しても良いかと思ひます。</u></li> <li>・ <u>問題ないと思ひます。</u></li> <li>・ <u>周知されていない印象があるが、しっかりと組織化されている様に感じる。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-5 学校運営会議、教育会議などの定期開催	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容は良いですが、「大森校の教職員全員による、月一回の職員会議」の教職員と職員の言葉選びに工夫が必要かと思えます。</li> <li>・定期的に行われているのは良いと思えます。教務部と企画営業部の会議内容、定期開催の有無が不明確なため、評価3としています。</li> <li>・授業を持っている講師が、学校側だけでなく、担当科目を越えて講師間で在校生の問題点や状況を共有できる会議があると尚良いと思う。</li> <li>・連絡会と経営会議が設けられる等、改善の取り組みがなされているため、適切に行われているように感じる。</li> <li>・とても良いと思えます。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-6 各会議の内容と適正さ	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いです。</li> <li>・議事録は書記の主観が入ってしまうと、意味や本質が変わってしまう可能性があるため、議事録の第三者チェックを入れると尚良いと思えます。</li> <li>・特に問題ないと思えます。</li> <li>・議事録に発言を詳細に盛り込む対応がされる様になったとの事で、適切に行われている様に感じる。</li> <li>・とても良いと思えます。</li> </ul>		

2-7 諸規程の制定 は省略させていただきます。

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-8 諸規程の整備及び職業安定所への届出	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・特に問題ないと思います。</u> <u>・顧問社労士に相談する等、適切に行われている。</u> <u>・整備されていると思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-9 諸規程の定期的な見直し	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・内容は良いです。課題の「定期的」と、答えの「随時」とのずれがありますので、修正しても良いと思います。</u> <u>・適切であると思います。</u> <u>・規程を見直すだけでなく、校務分掌を作成する等の対応もあり、適切に行われているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
2-10 学則等の定期的な見直し	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・学科などの学校の軸となる部分は、ある程度の期間継続していくことが望ましいと思うので、2022年度の変更後、短期間で再改変が行われないことを望みます。</u> <u>・適切に行われているように感じる。</u> <u>・長期見通しの元行われたものと思います。変化が多く、他校職員は把握できていないこともあり、共有を行う機会があってもよいと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-11 学生及び文書、備品等を守るための防犯対策の整備	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名) 平均 3.6点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>防犯対策の中に、学生の安全が損なわれる状況や文書・備品が紛失した際の対応も想定し、最悪の状況下でもヒト・モノを守る対策を盛り込む必要があるかと思えます。</u></li> <li>・ <u>コロナ対策もあり、ドアを開けていることもあり、少し心配です。</u></li> <li>・ <u>適切に行われているように感じる。</u></li> <li>・ <u>具体的施策ならびに、誰から何を守るための防犯対策かを改めて確認しても良いかと思いました。</u></li> </ul>	

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-12 各教職員の防犯に対する認識の徹底	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名) 平均 3.9点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>不法侵入者だけでなく、不審物についても近年気を付けた方が良いので、学校内外で不審物を発見した際の認識統一が必要かと思えます。</u></li> <li>・ <u>以前より強化されていると思えます。</u></li> <li>・ <u>見回りの際のチェック項目を作る等ほぼ適切に行われているように感じる。</u></li> <li>・ <u>適切であると考えます。本校でも参考にさせていただきます。</u></li> </ul>	

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-13 学校安全保健計画、消防計画の作成	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名) <u>平均 3.6点</u>
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>圧倒的に職員より講師の人数が多いので、マニュアルや行動フローチャートの共有は徹底し、職員のみので防災訓練も講師にも参加してもらいたいと思います。</u></li> <li>・ <u>感染防止に関しては適切に行われていると実感します。もし、大きな地震等あった際に授業を行っていた場合、生徒を安全に避難させ、自身の身を守る経路等、再確認する機会があればと思います。</u></li> <li>・ <u>緊急対応マニュアル、行動フローチャートの改定はされたとのことだが、防災訓練の実施が足りていないので残念である。</u></li> <li>・ <u>重要事項であると思います。</u></li> </ul>	

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-14 個人情報保護法の遵守	4 (5名) 3 (1名) 2 (1名) 1 (0名) <u>平均 3.6点</u>
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>適切だと思います。</u></li> <li>・ <u>各々のモラルに依存する為、100%は難しい項目かと感じるが、出来る事を適切に行っているように感じる。</u></li> <li>・ <u>学園全体での研修が必要であると思います。</u></li> </ul>	

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-15 セクシャルハラスメントの防止、対応マニュアルの作成	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名) 平均 3.6点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>講師についてもハラスメントの防止は例外ではないと思うが、業務委託契約の場合、就業規則が適用できないと思うので、講師用ガイドラインの作成、契約内容の見直しも合わせて行う必要があるかと思います。</u></li> <li>・ <u>演技のクラスだと、どうしても接触する（生徒と生徒、講師と生徒）ことが多いので、かなり気を付けていますが、少し不安を感じます。また、パワハラに関しても、生徒の側の理解度や各々の解釈、思い込み等でゆがめて受け取られる事があるのが不安です。</u></li> <li>・ <u>顧問弁護士や社会保険労務士などによる勉強会を行う等、適切に行われているように感じる。</u></li> <li>・ <u>勉強会を適宜、というのはどのペースで行っていらっしゃるのでしょうか。マニュアル作成などの明文化も必要と思います。</u></li> </ul>	

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
2-16 相談窓口の設置と適切な対応	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名) 平均 4点
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>適切だと思います。</u></li> <li>・ <u>適切に行われているように感じる。</u></li> <li>・ <u>とても有り難いことだと思います</u></li> </ul>	

### Ⅲ. 教育活動

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1		
3-1 教育理念、目標の反映	4 (2名)	3 (4名)	2 (1名)	1 (0名)
	平均 3.1点			
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単で良いのですが、具体的な言葉が欲しいです。</li> <li>・カリキュラムにどう教育理念が反映されているのか読み取るのが難しい。エンターテイメント業界共通して必要な挨拶や社会人としてのふるまい、筋の通し方など、特定の授業枠にはまらない部分で教育理念が生かされていくことを望みます。</li> <li>・おおむね良いと思います。もう少し通常授業の回数が増え、その中で教えられることが増えれば…と思っています。</li> <li>・実践的なカリキュラム編成で教育理念を実現できている様に感じるが、カリキュラム実施の側面でももう少し工夫が必要かもしれない。</li> <li>・定期的に第三者チェックや見直しを行っていくべきだと思います。特に委員の方でも、講師の先生など、直接生徒へ教えていらっしゃる先生方のご意見を尊重していくべきと感じました。</li> </ul>				

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1		
3-2 カリキュラムの構成 (教養科目と専門科目、座学と実習など)	4 (3名)	3 (3名)	2 (1名)	1 (0名)
	平均 3.3点			
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いです。</li> <li>・感染症対策で分散教室が設定されている等、カリキュラムへの配慮が感じられる。座学や実技を伴わない授業は、オンラインでのみに振り切ってしまうのも良いと思う。</li> <li>・通常授業のコマ数が少し少なく感じられることと、その中で外国語授業を増やすことが適切かどうか、少し疑問です。</li> <li>・講師の専門性の高さやバランスは評価できる。</li> <li>・これは他校も悩ましい事項ではありますが、講師の実績に委ねず、ディレクションをしていく事が最重要と思います。資格取得可能な授業は、ビジネスの専門学校カリキュラムを参考にされても宜しいかと思います。(華道やラッピング技術なども聞いたことがあります。)</li> </ul>				

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-3 カリキュラムに対する学生・卒業生の評価 ※重点項目①	4 (5名) 3 (1名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の声がカリキュラムに反映されているように感じます。</li> <li>・初心者も、経験者も満足できるようになっていると思います。</li> <li>・特にボーカル関係に関して感染症対策を取っていたのは高評価。</li> <li>・コロナ禍の現在の業界のニーズは、既存のエンターテイメントスタイルが通じなくなっている。 それを考慮してさらに突っ込んでいったものが欲しい、それができたら満点。演出助手、演出家などの裏方も学べたらよい。その辺はこの学校ではまだ手が伸ばせていないのではないか。</li> <li>・ミュージカルの観点から行けばよいカリキュラムだとは思いますが、演技の観点からすると大変演技の授業が少ないので、1つの授業に生徒の人数が集中してしまった。そもそも演技という名前がついている授業が少ない。歌、ダンスだけではエンターテイメント業界ではやっていけないので、演劇のニーズに広げてほしい。</li> <li>・授業クラスの細分化については評価に値する。学生、エンターテイメント業界に応じたニーズに合わせたカリキュラムの作成は難しい。学生のやりたいこと、やらせたいことが一致していないといけない。</li> <li>・初心者も平等に2年間勉強できるのは良いと思う。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-4 カリキュラムの定期的な点検及び見直し	4 (4名) 3 (2名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いです。</li> <li>・見直しについて、学校教員が授業のモニターを行うことも点検という意味では必要な事と思う。 学生アンケートのみならず判断材料は多いほうが良い。</li> <li>・生徒のアンケートに比重を置かないほうが良いのではと思います。業界のことを知らないのはもちろん、その時に理解しやすいものが自分のやりたい事（できるか、向いているかの判断がまだついていない）の状態での希望に振り回されてしまわず、本当に必要なものを与える方が良いと思います。</li> <li>・学生からの回答を基に点検されている点は大変評価できるが、学生からの要望に応えきれているかと言うと完全ではないので、更なる改善に期待したい。</li> <li>・業界のニーズも変化し続けていると思いますので、そこを考慮に入れた検討が重要であると思います。 それには、現場に出ている講師の先生方のご意見を伺うのもよいかと思います。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-5 実習システムの現況と今後の見直し	4 (0名)	3 (4名) 2 (3名) 1 (0名)
	平均 2.6点	
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>実習システムの連携を進めてください。</u></li> <li>・ <u>今は感染症もあって実習の受け入れ先の選定が難しいと思うので、今後も引き続き検討していくのが望ましいと思います。</u></li> <li>・ <u>演劇業界、声優業界のみで言うと、インターシップ制は難しく、昨年度多少実施されたが、そのために授業を欠席したり、実習をした生徒が学校をやめてしまったり、あまり良い影響を及ぼしていない気がします。</u></li> <li>・ <u>コロナと言う要素も加わり、更にインターンシップ等の対応が難しい状況ではあるが、実際の現場を知ること大切な事なので、ぜひ検討の上進めていただきたい。</u></li> <li>・ <u>具体策の検討が今後必要かと思います。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-6 シラバスの作成・学生への提示状況	4 (6名)	3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)
	平均 3.4点	
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>オンラインの取り入れはコロナ対策の中、有意義だったと思います。</u></li> <li>・ <u>学生に周知されており、適切に行われているように感じる。</u></li> <li>・ <u>迅速に対応されていらっしやっただ事と思います。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-7 教育方法の工夫・研究の取り組み	4 (3名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント ・良いです。 ・一人ひとりの声をしっかり聞き、希望の進路に変更が生じたときにタイムラグなくアウトプットの場を変える等の取り組みもあると良いと思います。 ・良いと思います。 ・学生の進路に合わせた授業を行う等、適切に行われているように感じる。 ・具体的にはどのようなものでしょうか。		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-8 生徒・学生の授業評価とその反映	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント ・良いです。 ・授業を欠席する生徒が減ってきたように感じます。本人の適性でないコースを取って伸び悩んだり、苦しんでいる生徒をどうしていくかが課題だと思います。 ・客観的な評価方法で適切に対応されている様に感じる。 ・とても良いと思います。		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-9 卒業生・企業等の評価と活用	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント ・良いです。 ・これまでも学内オーディションに頼り切ってしまう生徒が多々見受けられたのが気になります。 ・自分に対する客観的な評価を知れる良い機会だと思う。 ・「入るのは簡単」と仰っていらっしゃった方のご意見も考慮しますと、事務所の方々に観て頂くことがゴールではないという認識を十分に持たせる必要があると思います。		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-10 成績不良者への対応	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携など、神経を使うところですが、実行して下さることは素晴らしいです。</li> <li>・以前より、良い対応に確実になっていて実を結んでいると思います。</li> <li>・義務教育ではないので、保護者との連携を重視することについては少し違和感を抱く。学生本人との対話をまずは重視すべきと思います。</li> <li>・学科担当制度により、適切に行われているように感じる。</li> <li>・大切な事と思います。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-11 学則・細則・内規に準拠した評価	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いです。</li> <li>・適切に行われているように感じる。</li> <li>・参考にさせていただきます。事前に公表することは必要不可欠な事と思います。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-12 各成績判定者の審査基準、意思の統一	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いです。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-13 評価の客観性・妥当性・信頼性・公平性	4 (5名) 3 (1名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・どんな確認結果だったのか記すようにしてください。</u> <u>・教職員による成績評価会議を行う等、適切に行われているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-14 年度別合格率の推移、問題点の把握と対策	4 (2名) 3 (5名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <u>・合格率は資格の合格率なのかを明記してください。</u> <u>・資格取得が目的でないのであれば、現状でも問題ないと思うが、体のケアの為に授業をするのと、資格取得の為に授業をするのではアプローチの仕方が違うように思うので、受講時の学生のスタンスは明確にしておく必要があると思う。</u> <u>・生徒に機会が与えられている事はとても良いと思います。</u> <u>・資格取得が目的でないで、取得率が低いのは仕方がないが、進路的に演者を目指さなくなった生徒には、資格取得を促す等の対応が必要かもしれない。</u> <u>・金銭面のハードルはあると思いますが、例えば資格取得者には図書券を渡す等、学校として支援の姿勢（とって取らなくても良い、ではなく、今後何をメインに働くかは誰にもわからないので、選択肢を広げるためにもぜひ取得を、と推奨するスタンス）を明確にしても良いかと思います。募集に繋がる可能性があるかと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-15 不合格者への対応	4 (3名) 3 (3名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <u>・資格などの合格率ならこれで良いです。</u> <u>・資格取得を目指しての不合格と一授業として受講しているの不合格は、同じ不合格でも性質は全く違うと思うので、前者については適切なフォローアップが必要と思います。</u> <u>・資格取得が目的ではないので、問題ないように感じる。</u> <u>・「資格はどっちでもよい」というスタンスではない方が良いと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-16 専任教員と非常勤講師との数的・男女のバランス	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・専任教員が若干少ない感じがします。</u> <u>・専門的な授業ばかりなので、専任教員の人数が少ないのは仕方がない様に思う。適切だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-17 教員の平均年齢とバランス	4 (3名) 3 (3名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <u>・女性教員のみという意味が分かりません。</u> <u>・男性が増えると生徒との対応に幅が出るのではと思います。</u> <u>・適切だと感じる。</u> <u>・何が適切か、という難しいですが、さまざまなタイプのモデルとなる「大人」がいても良いかと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-18 1人当たりの担当授業時間数の点検	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・受け持ち授業が増える分にはむしろやりがいを感じます。</u> <u>・適切な授業時間だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-19 担当業務の内容と全体のバランス	4 (3名) 3 (3名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・専任教員の人数が少ないので、業務の属人化がないように分担していくことが望ましい。</u> <u>・専任教員の人数が少ないので、業務量のバランスは臨機応変に分担する必要がある様に感じる。</u> <u>・いつも拝見している訳ではありませんので分かりかねますが、いつもお忙しいそうです。高等課程との違いはあまり想像が付きませんが、授業担当がない分、効率化、業務分担を行えると良いかと思います。</u> <u>しかしながら大変さは分かります。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-20 定期的な人事考査の実施	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。進展に期待します。</u> <u>・適切に行われているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-21 教員の教育能力開発への取組状況	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・とても大切な取り組みだと思います。</u> <u>・良いです。</u> <u>・外部研修に参加できない分、学内研修をする等、適切に行われているように感じる。</u> <u>・学内研修の仕組みはとても良いと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-22 教員 1人あたりの学生数の割合	4 (3名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・結果が適正かどうかなどの提示があると良いです。</u> <u>・良い人数編成ですが、1人1人をもう少し細かく丁寧に見る場合は、少し多いと思います。授業を行うにあたっては昨年度とても良い人数でした。</u> <u>・適切な様に感じる。</u> <u>・良し悪しが分かりかねますが、サポートしやすい人数かと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-23 職員の人数並びに年齢構成、男女のバランス	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・良いバランスの様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-24 担当業務の内容と全体のバランス	4 (4名) 3 (2名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・人数が適切なのか不明です。兼任による不都合が出ないようにしてほしい。</u> <u>・良いです。</u> <u>・多岐に渡る業務がある中で、同じく業務量が多岐に渡っている教員との兼務は、業務バランスが悪いように感じる。</u> <u>・教員を兼任の場合は、業務負荷が大きく大変だと思う。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-25 定期的な人事考査の実施	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・これは職員の人事考査ですね？良いです。</u> <u>・適切に行われているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
3-26 各職員の意思疎通（報告・連絡・相談）	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・定期的に連絡会という情報共有の場があり、適切に行われているように感じる。</u>		

#### IV. 学修成果

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1		
4-1 就職・資格取得・中退予防等の取組が適切か ※重点項目②	4 (3名)	3 (4名)	2 (0名)	1 (0名)
	平均 3.4点			
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組自体は適切だと思うが、例えばマナー講座等で一般的なマナーに加え、就職先担当者（マネージャー）や上司とのコミュニケーション等のアドバイスも必要だと思います。</li> <li>・エンターテインメント業界への就職口を学内公開オーディションだけに頼らず、学生自身が自ら探し受験を希望するオーディションの支援もしていけるとより良いと思います。</li> <li>・カウンセリングはすごく良いと思います。話しやすいカウンセリングの方だと思っています。</li> <li>・この学校で資格取得は難しいとは思う。中退予防として保護者と連携しているのは良い。</li> <li>・就職支援の公開オーディションについて、コロナ禍でオンラインも併用して学生のために出来る限りのことをやっていたのではないか。中退予防の側面で奨学金の話にもつながって来るのではないか。</li> <li>・マナー講座、面接、模試を受けられるのは良い。退学率が昨年度よりも上がっている点が気になった。精神的な面でケアされていることはわかるが、来年度以降より一層サポートを厚くしていくべき。一回就職をして終わりではなく、その先も想定して視野を広げていければいいのではないのだから。資格取得というのも良い点だと思った。</li> <li>・今の時代はパニック障害等、何事も細分化され、カウンセリング等のアクセシビリティ支援で適切に扱う必要が出てきている。これからはもう少し求められる可能性が出てくるのでは。</li> </ul>				

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1		
4-2 動向分析	4 (2名)	3 (5名)	2 (0名)	1 (0名)
	平均 3.3点			
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率について、事務所への所属が就職とするのには少し疑問を感じる。</li> <li>・成果を上げています。</li> <li>・中退者がもっと減ると尚良いと思う。(以前より確実に減っている。) 進路を生徒自身がもう少し明確に決められると良い。(中には事務所と劇団養成所の違いや、どんな劇団があるのか等、知識がないまま2年の後期になっている生徒も多い。)</li> <li>・高い就職率ではあるが、進路のミスマッチが発生している可能性もある為、卒業後の動向も追跡できると更に良いと感じる。</li> <li>・卒業後5年、10年先を見据えてのキャリア教育拡充が求められると思います。</li> </ul>				

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
4-3 中途退学への対応	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <u>・退学者はいつでもいるもので、ほとんどは退学者に問題があるが、教育環境の見直しをすることは学校の進展に役立ちますね。</u> <u>・三者面談を行うなど、適切に行われているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
4-4 卒業生の活躍の状況	4 (3名) 3 (2名) 2 (2名) 1 (0名)	平均 3.1点
委員コメント <u>・幅広いプロダクションに開けているのは素晴らしいです。</u> <u>・進路先のみでの記載では、活動の状況が見えない。どの進路先でどのような仕事をしているのか、進路先よりも質の方が大事だと思います。</u> <u>・過去の生徒の進路や、現活動状況、前年度の卒業生の進路が、在校生にもっと明確になると良いのでは。</u> <u>・幅広い分野で活躍しており、素晴らしい状況だと思う。</u>		

## V. 生徒・学生支援

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-1 担任、担当者による進路・就職相談の実施	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・通常のキャリア支援のようなことを並行して教員がやることは大変ですが、学校の性質上理想的です。</u> <u>・専任講師への相談等もっと積極的にあって良いと思う。</u> <u>・定期的に担当教員と面談を実施する等、適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-2 卒業後の進路調査の徹底	4 (3名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時だけでなく、大変ですが、卒業後1年は調査出来るように工夫するのが良いと思います。</li> <li>・卒業時だけでなく、卒業後も数年は継続した調査がされると更に良いと感じる。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-3 新たな求人の開拓のための活動 ※重点項目③	4 (3名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加企業数を増やすことも大事だとは思いますが、進路先として適切な企業かを見極め選定することも必要だと思う。</li> <li>・とても前向きにやっていると感じられる。業界にネットワークのある職員がいるということは本当に素晴らしいこと、業界に求められているものだと思う。</li> <li>・プレシャスオーディションの企業数が増えているのはものすごい企業努力であり、100点の点数に値する。企業数よりも将来生徒が所属するのに適切なプロダクションかというのがあるので、その点に関してはこの文章からは読めない。コロナ禍でエンターテイメント業界のビジネスモデルも変わってきており、YouTuberのような役者も増えている。今後はそのようなプロダクションも増えていくと学生も喜ぶのではないかと思う。</li> <li>・外部オーディションを行う劇団にどうアピールができるか。この時代オンラインでできるのは、時代を逆手に取った強みかなと思う。学生の1/3~2/3くらいは自分で行き先を探さずにプレシャスオーディションで声をかけてくれたところに行ってしまう。劇団に行った学生は割と残るがプロダクションだと移ってしまう学生がほとんどの状況だ。どれくらいそこに残ったのかという追跡調査ができれば、本当に適切かが見えてくる。</li> <li>・今年はプレシャスオーディションに高校生も加えていただくという貴重な機会だった。普段他の企業に見ていただくというのはなかなかできないので、所属の有無に関わらず非常にいい経験だった。その先どう学んでいくかを見る経験を専門学校でできたのかなと思うと、よかったのではないかと思う。</li> <li>・入るのは簡単、そこから本人次第だと思うので、そこからどれくらいきちんと本人の将来につながっていくかなというのは思った。</li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-4 カウンセラーによる学生相談室の設置 並びに相談システム	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・設置しても、タイムリーにカウンセリングできない時もあるかもしれません。運用法があれば今後は示して行ければと思います。</u> <u>・とても良いと思います。</u> <u>・カウンセラーによる学生相談室が設置されたのは前進した。困った生徒が本当に利用しているかが見える工夫があれば尚良い。</u> <u>・運用にあたって課題も今後出てくると思いますので、随時見直しが必要かと思ひます。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-5 相談者の守秘義務の徹底	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・守秘義務は、違反に対しては罰則を設けている学校もあります。</u> <u>・適切に対応されているように感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-6 相談内容によるカウンセラーと教職員との連携	4 (4名) 3 (2名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.4点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・職員会議だけでなく、常日頃から職員間の共有、カウンセラーとの連携を図っていくことが望ましいと思ひます。</u> <u>・カウンセラーと教職員の連携についても定期的に機会を設ける等の対策が必要な様に感じる。</u> <u>・とても良いと思ひます。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-7 奨学金制度の整備	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・複数の奨学金を案内しており、その中から必要なものを選べるので、適切な様に感じる。</u> <u>・周知について、ガイダンスブックへ掲載するのはいかがでしょうか。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-8 奨学金貸与者の推移	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <u>・引き続きよろしくお願ひ致します。</u> <u>・学生への周知もされており、適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-9 学生寮の有無、管理・サービス状況	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に対応されている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-10 定期健康診断の実施及び受診項目	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント ・定期検診はとても大切な取り組みだと思うが、今後感染症予防の観点からも不定期のPCR検査も検討してほしい。 ・良いです。 ・適切に実施されている様に感じる。		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-11 卒業生のフォローアップ状況	4 (3名) 3 (1名) 2 (3名) 1 (0名)	平均 3点
委員コメント ・引き続きよろしくお願ひ致します。 ・昨年も話題に上がっていた同窓会組織づくりを検討するとのことで、今後に期待します。 ・ぜひ同窓会組織等、卒業生へのフォローアップをしてほしい。それが在校生への未来に色々良い影響を及ぼすと思う。 ・コロナ等、不測の時でも機能出来る同窓会組織づくりの必要がある様に思う。 ・良いと思います。		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
5-12 卒業生や就職先等関係者の意見聴取等の活用状況	4 (2名) 3 (4名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.1点
委員コメント ・良いです。 ・コロナの影響であまり出来ていないのは仕方が無いと思うが、そのような状況下でも機能する仕組みを考えて行く必要がある様に思う。		

## VI. 教育環境

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-1 施設の使用状況	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に行われている様を感じる。</u> <u>・今までよりも使用可能時間が増えたということでしょうか？</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-2 普通教室、実習室の面積(全体、学年1人あたり)	4 (5名) 3 (1名) 2 (1名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・時々、第5、第6教室に対して、生徒の数が多し授業の場合もあるのが残念。(コロナで余計そう感じるのだと思います。)</u> <u>・適切だと感じる。</u> <u>・学年1人あたりの記載はなくても良いのでしょうか？</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-3 保健室・休憩室の整備	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・実現すると素晴らしいと思います。</u> <u>・良いです。</u> <u>・適切だと感じる。</u> <u>・この時期において適切な対応だと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-4 自学・自習室の有無	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・どのくらい生徒が活用しているのかわからないので…スペースがある事はとても良いと思う。</u> <u>・適切だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-5 各室の安全性、セキュリティ対策の状況	4 (5名) 3 (2名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.7点
委員コメント <u>・学生のマスクについて、現在演劇界の多くのカンパニーでは、不織布マスクの徹底がなされているのですが、可能でしたら学校でも推奨してもらえると更にセキュリティ面でも良いと思います。</u> <u>・これらの対応は災害時には役立つものであり、各部屋に配置の警備カメラも有効ですが、プライバシー問題と背中合わせでもありますので、常に注意して議論の対象にするのが良いと思います。</u> <u>・以前より強化されたと思う。</u> <u>・万全な対策がなされているので、適切だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-6 卒業生の利用希望への対応	4 (4名) 3 (3名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.6点
委員コメント <u>・適切です。</u> <u>・コロナで貸し出しを中止した点も含め、適切だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-7 教育用機器備品の整備、充実度	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>演技の授業のための小道具（例えば、色々使えるサイコロと呼ばれる四角い箱やテーブル等）がもう少しあると嬉しい。</u></li> <li>・ <u>適切に行われている様に感じる。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-8 視聴覚、情報機器の整備、充実度	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>Wi-Fi の普及は急務です。</u></li> <li>・ <u>ライブ配信を行うには協力で安定的な回線が必要になるので、Wi-Fi とともに有線も充実させることが望ましいと思います。</u></li> <li>・ <u>適切に行われている様に感じる。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-9 学校行事による学生間、学年間の連帯意識の育成	4 (2名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>とりあえずの対応は良いとして、引き続き研究を継続してください。</u></li> <li>・ <u>対面での連携が難しいことも今後多くあると思うので、オンラインでのミーティング等を活用した新しいやり方を検討しても良いと思います。</u></li> <li>・ <u>コロナ等外的要因もあった事と思うが、どの様な状況でも機能出来るように在学中のみ使用できる SNS 等、工夫が必要かもしれない。</u></li> </ul>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-10 学校行事による学生、教職員間の連帯意識の育成	4 (2名) 3 (4名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.3点
委員コメント <u>・学生リーダーは年によって性格、資質が違うので、引き続き研究を継続してください。</u> <u>・オンラインを活用した新しい連携の取り方やスケジュール感の共有など、行事ごとに見直し ブラッシュアップを図ると良いと思います。</u> <u>・こちらも職員専用の SNS を設ける等の工夫が必要かもしれない。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-11 担任制による学生への対応の徹底と認識	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <u>・良い方向です。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-12 正課授業内に発生した事故への適切かつ迅速な対応	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u> <u>・適宜、AED 使用や救急救命の講習受講などを行っても良いかと思います。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-13 防災の対応マニュアルの作成と適切な対応	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・マニュアルを作成する等、適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-14 防災訓練等による学生への防災対策の周知	4 (5名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.8点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
6-15 防災訓練の実施状況及び方法	4 (6名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

## VII. 生徒募集

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
7-1 広報活動開始の時期、方法	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・ホームページの映像、素晴らしいです。パンフレットやチャットシステム等、興味をそそる内容、活用したくなるシステム、とても良いと思います。</u> <u>・多様な手段を用い、広報活動がなされており適切だと感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
7-2 誇大広告の自己点検（学校案内等）	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・引き続きよろしくお願ひ致します。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

## VIII. 財務

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
8-1 学校経営における適正度の点検	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

## IX. 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
9-1 法令遵守の状況について	4 (7名) 3 (0名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 4点
委員コメント <u>・実施をよろしくお願い致します。</u> <u>・新しく顧問弁護士事務所と契約を進める等、適切に行われている様に感じる。</u>		

## X. 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
10-1 教職員・学生・生徒が活動するための学校の支援体制	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・コロナ禍が明けましたら、また活発に活動してください。</u> <u>・とても良いと思います。</u> <u>・旅行代理店企画に、ボランティアプログラム（海岸ゴミ拾い／アート作品をゴミをリサイクルして作る／国際交流）も様々あるそうです。</u>		

## XI. 国際交流

評価項目	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
11-1 留学生の受入れ・派遣のための体制整備	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名)	平均 3.9点
委員コメント <u>・良いです。</u> <u>・今まではあまりにも日本語が理解できない生徒もいたが、他校に比べて数は少ない。非常に優秀な留学生もいたので、これからも受入れ態勢を整えて、日本人生徒とうまく共存してお互い良い刺激になるようにして行ってほしい。</u> <u>・適切に行われている様に感じる。</u>		

評価項目	適切・・・4      ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2      不適切・・・1
11-2 国際交流の枠組	4 (6名) 3 (1名) 2 (0名) 1 (0名) <u>平均 3.9点</u>
<p>委員コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>良いです。</u></li> <li>・ <u>コロナがおさまったら海外研修の再スタートがあると良いと思います。留学生受入れについては適切だと思います。</u></li> <li>・ <u>本年は実施できていないとの事ですが、枠組みは適切だと思う。</u></li> <li>・ <u>在校生：オンラインレッスン等も可能だと思います。</u></li> </ul>	

## 2020年度 学校関係者評価委員会 会議議事録（第1回）

開催日時：令和2年10月20日（火曜日）17：30～18：30

会場：日本芸術専門学校 第5教室

出席者：

学校関係者評価委員

教育関係者・・・大島 幾雄

業界団体・・・高山 佳音里

業界団体・・・ひの あらた

業界企業・・・大西 伸行

業界企業・・・竹下 恭平

卒業生・・・砂田 明子

高校教員・・・野村 静夏

・・・ 7名

自己点検・評価委員及び学校教職員

日本芸術専門学校 校長・・・武田 光弘

教務部部长 兼 法人本部 総務部部长・・・山口 忠生

法人本部 事務局部长・・・広井 里佳

企画営業部 部长・・・西垣 俊紘

総務課長・・・鈴木 秀範

教務部 主任・・・中迫 まい子

教務部・・・多賀 万里子

・・・ 7名

・・・計14名

司 会：中迫

議事録：多賀

### 1. 理事長挨拶

※武田

教育の場、客観的な評価をいただけるようお願いの旨と、学校関係者評価委員会の目的について改めて説明をした。

### 2. 学校関係者評価委員 新委員紹介

※山口・中迫

教務部 山口による教務部の紹介、その後委員の皆様のご紹介を中迫より行った。  
また、引き続き委員長を高山先生にお願いすることについてのご賛同をいただいた。

### 3. 中間報告

#### ※中迫

中間報告書について教務部より説明を行った。(別紙参照)

また、学園祭はオンライン配信開催だということ、フェイスシールド、マウスシールドを学園祭用に全学生配布したことを補足した。学園祭配信映像を一部紹介した。

その後、委員の皆様のご意見をいただいた。

#### ※委員

・各学生の経済状況、どんなビジョンで通ってきているのかで学びの見方が異なるだろう。レベルを上げるには、講師同士の磨き合いがあっても良いかもしれない。本校においては、新しい分野にもっと敏感になった方が良い。「先を開く」「先を見る」「知恵を前に向ける」という姿勢をこちらから提示できると良い。

・学校にはホールもあり、みっちり授業できるのは良いが、リサーチする時間が足りないのでは？と前から感じている。井の中の蛙にならぬよう、外に視線を向かせるように仕向けても良いのでは。講師同士の交流でどのような教育があるのか、学生の話を話したりする意見交換の場を設けても良いかなと思う。

・前回の会議で聞いた内容が臨機応変に盛り込まれていた。多様感について「自分に合うものを吸収する場」なのか、「ブラッシュアップしに来ている」のか、いろいろありすぎて一つ一つの時間が足りないのでは。一人一人のスキルアップで「日芸を出ると〇〇が面白いね」という箔がつくと良いと思った。

・コロナ禍で音楽家や有名アーティストの活動が止まっている中、VTuberの収益が明らかに上がっている。このような状況は読めなかった事態ではあるが、そのようなリアルな様子を授業で伝えていきたい。教える立場としても大変難しいと感じている。

・改善を重ねられた学校になっていると感じている。ジャンルが選べるのは、その反面浅くなってしまう器用貧乏になってしまいそう。何で勝負できるのかが見つからないまま卒業とならないと良いと思う。密対策について、エンタメの業務上で感じている点としては、現在ショーは中止、再開の目処はなし。その現状の感染対策はそれぞれのガイドラインで行っている中、今後のエンタメ業界の時代の流れにも対応できる力を身につけてほしい。

・現在、学園の系列校高等課程にお子様がお通われており、保護者としてのご意見もいただいた。休みの期間も一人一人ケアしてくださった。教員、学生、保護者のコロナに対してのそれぞれ想いが溢れているを感じる。専門との交流があると良い。

・学園の系列校高等課程の教員としての意見をいただいた。高等課程と専門課程で学びジャンルが違うため、進学先としての紹介がなかなかできない。連携して交流があると良い。高校では数ある学校の違いがわからない生徒が多い。卒業後、どのような進路の選択肢があるのか、好きなことに関わりつつ裏方などの働き方があるのかなどの出口の種類もあると紹介できれば、このコロナの中でも選択する候補になるのでは。

#### 4. 次回 学校関係者評価委員会

※中迫

次回は2021年2月下旬から3月上旬頃を予定していることを司会が伝え、最後に、武田より評価委員会へのお礼の挨拶があり、2020年度第1回学校関係者評価委員会を終了した。

以上

令和2年度 第1回 学校関係者評価委員会  
中間報告書 【今年度の取組について 進捗報告】

① 「コースの新設」、新設コースに対応した「総合舞台制作」について

《令和元年度第3回学校関係者評価委員会 報告概要》

コース編成について、次年度（令和2年度）新入生から、声優・ダンス・音楽などをマルチに学べる「クリエイティブパフォーマーコース」を芸術学科に新設予定。

それに伴い、年度末に行われる総合舞台制作では「ミュージカル」「舞台俳優」「映像俳優」の各公演とは別に、「クリエイティブパフォーマー」の統合公演を実施し、声優・ダンス・音楽、それぞれの専攻の担当講師が年間を通して指導していく予定。

《今年度 進捗報告》

総合舞台制作については、今年度の公演実施方法について感染対策も含めた3専攻（声優・ダンス・音楽）のコラボレーション実現に向け、目下検討中。

中間発表の場となる10月24日、25日の学園祭では、クリエイティブパフォーマーコースの3専攻でそれぞれの講師が演出・指導を行い、パフォーマンスを行う予定。今回の学園祭は事前収録を行い、オンライン配信することが決まっている。

② 「授業内容の充実」、必修授業の増設について

《令和元年度第3回学校関係者評価委員会 報告概要》

授業内容をさらに充実させるべく「必修授業の見直し」を行う予定。

どのコースも必修科目を増やすことで、卒業後それぞれの分野に進む際、必要なスキルを学生に身につけてもらうかたちを目指す。

具体的には

1. 舞台俳優コースに、2年生での必修科目を新設。
2. 映像俳優コースに、演技科目の必修を増設。
3. 声優コースは、洋画とアニメを必修にし、昨今、活動の形態がマルチになっている業界に対応できるよう、ダンサーコース・ミュージシャンコースも含めた、「セルフプロデュース」を必修として新設。
4. ミュージカルコースに、「タップダンス」を必修として2クラス新設。  
また、同コースは学生の人数が多いため「シアターダンス」について、クラスを3つ設定することで、1クラスあたりの人数を減らし、充実した授業環境を提供予定。

### 《今年度 進捗報告》

今年度からコース編成が変わったこともあり、進路に迷った学生のコース移動が多く、履修人数に偏りが生じた。そこで必修授業が定員を上回る状況を避けるべく、授業を増設する等緊急対応を行った。次年度からは、学校のコース変更に伴うルールを見直し、学生の進路相談を常に教務が把握できるよう、体制を整える予定。

具体的には、今年度【面談希望申請書】を提出することにより、随時進路相談等を行うことができる制度を新設した。

### ③「入学希望者増加への対応」及び「ミュージカルコース」「映像俳優コース」の授業増設について

#### 《令和元年度第3回学校関係者評価委員会 報告概要》

「ミュージカルコース」と「映像俳優コース」の入学希望者が増加傾向にあるため、授業を増設予定。具体的には、まず「ミュージカルコース」について、歌唱力強化のため、「ミュージカルヴォーカル」及び「ミュージカルアンサンブル」を増設予定。

次に「映像俳優コース」について、現在活躍されている映画監督の方を新たに講師として迎え、映画の構成や演出、芝居についての講義や議論を行う授業を提供する。

その他にも脚本実習や、数々の有名舞台で舞台監督をされてきた方による演出の授業も新設予定。

#### 《今年度 進捗報告》

まずミュージカルコースについて、「ミュージカルヴォーカル」「ミュージカルアンサンブル」を増設したにもかかわらず、履修人数が予想を大幅に上回った。さらに今年度は感染症対策にも配慮する必要が生じたことにより、授業の更なる増設という緊急対応を行った。歌の授業においては、個別指導という体制が大変重要であるが、現状課題は多い。

次年度には、カリキュラム再構築だけでなく、履修者選抜試験や一部抽選制度を新設予定。

次に映像俳優コースについて、前期末の授業において、来年2月上映予定の総合舞台制作キャストオーディションを行った。10月24日、25日に行われるオンライン配信の学園祭において、キャストの発表を行うという企画も進行中。

#### ④「年間行事の充実」について

##### 《令和元年度第3回学校関係者評価委員会 報告概要》

次年度（令和2年度）は、開校日を最大にする予定。

ミュージカルプロジェクトに出演する学生には、夏休み期間の一部を稽古期間とし提供予定。

##### 《今年度 進捗報告》

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月・5月を休校とし、年間行事及び授業の大幅な変更を余儀なくされた。

行事・授業については全て代替案を準備し提供している。ミュージカルプロジェクトについては、現状3月末に延期予定。

このような不規則な状況も影響し、在校生の負担が増大しているため、教務部でのケアを継続して実施している。

#### ⑤「一部機材の刷新」について

##### 《令和元年度第3回学校関係者評価委員会 報告概要》

今年度（令和元年度）DTM授業に対応するため改修した第1教室に続き、

次年度は、主にアフレコ授業やレコーディングに使用している第2スタジオの機材を、

Pro toolsも含め入れ替え予定。

##### 《今年度 進捗報告》

第2スタジオの機材については、計画どおり最新システムへの入れ替えが完了し、プロのオペレーターも招くことにより授業環境の充実を図った。

また、地下ホールのホリゾントについて、経年劣化が著しかったため、新規入れ替えを行った。

その他にも、バレエバーを追加で購入し、バレエ授業におけるディスタンスの確保を実現した。

プレ授業・ガイダンス・学園祭等のオンライン化に伴い、ウェブカメラやカメラ、モニター、編集用パソコンなど、撮影用機材を新規購入した他、感染拡大防止対策のためのアクリル板を含む衛生用品等も積極的に取り入れた。

機材の刷新については、今後引き続き実施予定。

## 2020年度 学校関係者評価委員会 会議議事録（第2回）

開催日時：令和3年2月25日（木曜日）15：00～17：00（2h）

場所：日本芸術専門学校 第3教室

出席者：

学校関係者評価委員

教育関係者・・・大島 幾雄

業界団体・・・高山 佳音里

業界企業・・・大西 伸行

卒業生・・・砂田 明子

高校教員・・・野村 静夏

・・・ 5名

自己点検・評価委員及び学校教職員

日本芸術専門学校 校長・・・武田 光弘

教務部部长 兼 法人本部 総務部部长・・・山口 忠生

法人本部 事務局部部长・・・広井 里佳

企画営業部 部長・・・西垣 俊紘

総務課長・・・鈴木 秀範

教務部 主任・・・中迫 まい子

教務部・・・藤沼 佑季

・・・ 7名

・・・計12名

（都合により欠席） ひの あらた、竹下 恭平

司会：中迫 まい子

議事録：藤沼 佑季

### 1. 校長挨拶及び趣旨説明

※武田

資料の確認を行った後、今回の委員会の趣旨説明を行った。

### 2. 本日の流れ説明

※中迫

配布資料の確認と本日の流れについて説明を行った。

### 3. 学校評価の仕組み

※中迫

学校関係者評価委員会等の制度の仕組みについて説明を行った。

#### 4 - i. 学校案内・修学支援制度について

※西垣

学校についての案内と、今年度本校が修学支援制度の認定校となった旨の説明を行った。

#### 4 - ii. 事業計画書の説明

※武田

事業計画の内容とスケジュール、実施予定内容について、資料に基づき説明を行った。  
(別紙参照)

#### 4 - iii. 施設案内

※鈴木

緊急事態宣言下のため例年行っている校舎内の移動による説明を行わず、モニターにて施設内の案内と今年度の新規購入物品、施設拡充内容について説明を行った。

### 5. 自己評価概要説明

※中迫

自己評価項目及び基準、重点項目について説明。(2020年度 自己点検・評価参照)

### 6. 意見交換

説明についての質疑応答、重点項目について討議。

### 7. 今後のスケジュール確認

今年度は今回の第2回で終了。後日、評価資料をご提出いただき、結果を郵送にて案内する旨を説明した。

#### ◆重点項目についての討議内容に関して

武田より、それぞれの項目について説明があり、学校関係者評価委員より自由に意見を頂戴する時間を設けた。以下にその記録を報告する。

#### 重点項目①

##### Ⅲ-3 カリキュラムに対する学生・卒業生の評価

※委員

・特にボーカル関係に関して感染症対策を取っていたのは高評価。

・昨年 2.5 次元ミュージカルが流行ったことから、学生が 2.5 次元をやりたいという声を聞いた。ストレートプレイと比較したときに、求められるものが違うと思ったので、それを鑑みてよくクラス分けしていた。コロナ禍の現在の業界のニーズは、既存のエンターテインメントスタイルが通じなくなっている。それを考慮してさらに突っ込んでいったものが欲しい、それができたら満点。演出助手、演出家などの裏方も学べたらよい。その辺はこの学校ではまだ手が伸ばせていないのではないか。

・ミュージカルの観点から行けばよいカリキュラムだとは思いますが、演技の観点からすると大変演技の授業が少ないので、1 つの授業に生徒の人数が集中してしまい、増えてしまった。室内が密だったのではないか。そもそも演技という名前がついている授業が少ない。歌、ダンスだけではエンターテインメント業界ではやっていけないので、演劇のニーズに広げてほしい。不登校の話にもつながるが、ミュージカルにあこがれて入ってきただけで、何もレッスンを受けていない子がいる。初級のレッスンに入ってもついていけない。授業が多ければ適正に応じて導くことができる。もっと早くストレートプレイができていれば…

中迫：

演技の授業が少ない点については授業アンケートにもあったため、来年度の授業は舞台演技、映像演技を 3 クラスずつに増やすことが決まっている。

委員：

他の授業と重なって受けられないという意見が学生から多く聞かれた。

中迫：

入学の時点で基礎の知識がない子が年々見受けられる。次年度以降基礎知識を身に着けていける講義を計画している。

委員：

学校内で勉強しているだけでは足りない、あまり外を見ていない学生が多い。音楽座と劇団四季に行くのでは違うのに、学内から展開されているオーディションやプレシャスオーディションだけでしか見ることができていない。小劇場とはこういうもの、ミュージカルとはこういうものというのを伝えていければいい。

中迫：

実際に教職員間でもその話はあった。観るべき作品を観ていない学生が増えている。来年度助成金も利用して、DVD 化している作品などを学校内で借りて観ることができるよう、より作品に触れる機会を増やしていけるよう計画している。

委員：

・今年はコロナ対策で教職員大変だったと思う。授業クラスの細分化については評価に値する。学生、エンターテインメント業界に応じたニーズに合わせたカリキュラムの作成は難しい。学生のやりたいこと、やらせたいことが一致していないといけない。

・初心者の方も入ってくる。学生時代、授業を受けてもが初心者は相手にされない経験をしたことがあった。初心者も平等に2年間勉強できるのは良いと思う。

## 重点項目②

### IV-1 就職、資格取得、中退予防等の取組が適切か

委員：

・就職支援の言葉自体が似合わないが、外部向けのオーディションのことを言っているのだろうか。この学校で資格取得は難しいとは思う。実際問題として資格を習得できているのか。中退予防として保護者と連携しているのは良い。

中迫：資格取得を行う学生は全体の1割だが、授業を受けた上で別途資格取得料を払えば取得できる。

委員：

・就職支援の公開オーディションについて、コロナ禍でオンラインも併用して学生のために出来る限りのことをやっていたのではないか。中退予防の側面で奨学金の話にもつながって来るのではないか。

・カウンセリングを受けることができる張り紙を玄関で見て、良いと思った。役者のようなこういう職業ではメンタルをやられる場合があるので、先生以外の方が話を聞いてくれるのは良いと思った。劇団に就職したつもりはないが、この学校でいう就職はプロになることだと変換している。何割かは一般職に就職したいという子がいるが、就職支援の中にその方面の対応が入っていない。そのような子たちはどうしたらいいのか。

中迫：

今年度は2人スタッフ志望がいるがまだ就職には至っていない。コミュニティも利用して就職活動をしているが、コロナ禍で業界的に難しい。昨年スタッフ志望だった学生は今年3月にメディア業界に就職が決定した。

委員：

・取り組みとして拝見しているもの、マナー講座、面接、模試を受けられるのは良い。退学率が昨年度よりも上がっている点が気になった。精神的な面でケアされていることはわかるが、来年度以降も精神的サポートは必要であり、より一層サポートを厚くしていくべき。就職という概念について、専門学校を卒業してから何年か学校でアルバイトとして来てくれている卒業生は卒業後、ある程度年数が経って、自分の活動が少しずつ舞台に立つ側から作り手になってきている。自分の道が広がっていることだとも思うので、一回就職をして終わりではなく、その先も想定して視野を広げていければいいのではないのだろうか。資格取得というのも良い点だと思った。

・カウンセリングはすごくいい。高校に通う息子も昨年4月に入学するときの意気込みとコロナ禍の今と比べたら変わってきている。学校になかなか行けていない1学期と3学期は分散登校やオンライン授業だったので、だんだんやる気がなくなっているのが目に見える。ただ、親にも学校の先生にも相談しづらい点もあるのではないだろうかというのを感じている。カウンセリングの先生も合う・合わないがあるので、カウンセリングを行っていることを謳い文句にするのではなく、様々な先生を置いてほしい。

・今の時代はカウンセリングのようなアクセシビリティ支援がある。団塊の世代に入って自分からいかなないと競争に負ける、少し弱い子は置いて行かれてしまうような時代だった。今の時代は何事もパニック障害など病名がついている。昔は名前がついていなかったが現代はそれが細分化され、適切に扱う必要が出てきている。これからはもう少し求められる可能性が出てくるのでは。

### 重点項目③

#### V-3 新たな求人開拓のための活動

委員：

・とても前向きにやっていると感じられる。プレシヤスオーデイションは今年度企業数がかなり増えた。そういう事務所がたくさん世の中に存在しているのかと驚く。そのような点で積極的にやっていることがよくわかる。たとえば、東京音楽大学のコンピューターミュージック、アニメソング、最近のメディアに載っているような作曲科があり、就職率100%。テレビ局で職員をやっているような方が副業で講師をやっている。講師が業界につながりがあるので、そのまま就職できる。それを考えると、業界にネットワークのある職員がいるということは本当に素晴らしいこと、業界に求められているものだと思う。

・プレシヤスオーディションの企業数が 100 から 180 社に増えているのはものすごい企業努力であり、100 点の点数に値する。企業数よりも将来生徒が所属するのに適切なプロダクションかというのがあるので、その点に関してこの文章からは読めないのでは適切な評価にしている。コロナ禍でエンターテインメント業界のビジネスモデルも変わってきており、YouTuber のような役者も増えている。今後はそのようなプロダクションも増えていくと学生も喜ぶのではないかと思う。

・ミュージカルも含めた劇団というものは、ここでいい子がいたところですぐ所属には絶対ならない。声が来たところでそれは養成所を受けに来ませんかという声かけ。他のいい子がいた場合は落とされる可能性がある。劇団の人をプレシヤスオーディションに集めるのは難しいだろうなと思う。うちでも演劇学科に行かなくても受けられるような外部オーディションを始めている。そういうところが増えているので劇団にどうアピールができるか。この時代オンラインでできるのは、時代を逆手に取った強みかなと思う。ここに来なくても見たければ見られる状態になっていけばもう少し見てもらえるのではないだろうか。ただ、学生の 1/3~2/3 くらいはプレシヤスオーディションに甘えているのでは。自分で行き先を探さずにここで声をかけてくれたところに行ってしまう。そこで続けている学生は自分が教えている生徒の中ではあまりいない。劇団に行った子は割と残るがプロダクションだと移ってしまう子がほとんど。どれくらいそこに残ったのかという追跡調査ができれば、本当に適切かが見えてくる。

・今年プレシヤスオーディションに高校生も加えていただくという貴重な機会だった。普段他の企業に見ていただくというのはなかなかできないので、所属の有無に関わらずすごくいい経験だった。その先どう学んでいくかを見ることができたのはいいのでは。そういった経験を専門学校の学生もできたのかなと思うとよかったのではないかと思う。

・文面から見ればいいシステムだと思う。ただ、入るのは簡単、そこから本人次第だと思うので、そこからどれくらいきちんと本人の将来につながっているのか。

◆今回の会議では、自己点検の中から 3 項目について、委員に評価を頂いた。残りの項目は、評価用紙 に点数とコメントを記入して 3 月 10 日(水)までに郵送してもらうようお願いをし、第 2 回学校関係者評価委員会を終了した。

以上

# 2020 年度事業計画書

2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

学校法人 日本芸術学園

日本芸術専門学校

## 1. 2020年度 教育目標

### □3つの理念

感動の教育…感動は人生の窓を開く。感動が行動を起こし行動が人生を変える

品格の教育…知識・技術・人格・礼節を兼ね備えた品格ある人間を育成する

変革の教育…変革（Change）挑戦（Challenge）達成（Conquest）

### □2つのミッション

「Precious Treasure 教育」すべての学生にかけがえのない宝物を提供する

「100%」卒業生が100%満足できる進路を提供する

これらの教育理念のもと、コースに縛られないカリキュラミング、学生本位の価値ある授業を提供していく。

## 2. 2020年度 日本芸術専門学校 事業計画概要

### 1) 教育の質の向上

時代の求めに応じた授業を実施するため、下記の改革を行う。

□授業内容の見直しと、それに伴い一部の講師を入れ替え、授業を新設する予定。

□それぞれの専門分野で活躍している講師陣を招き、幅広く質の高い教育を提供。

選択授業のみならず、各コースの必修授業を充実させる予定。

□授業で使用するバレエバーを増設、地下ホールに移動式の鏡設置、 Horizont幕の交換、第11教室の窓にカーテンを新設、など教育環境の充実を図る計画。

□今年度は新型コロナ感染防止対策に伴い、授業の人数や教室の調整、こまめな消毒や換気などを随時行っている。

また十分な衛生用品の確保や配信に伴う機材の充実なども、補助金を利用しながら進めていく予定。

## 2) 学生支援

学生の教育費負担を軽減するため、各種奨学金などが用意されている。

今年度は新型コロナ感染対策に伴う緊急支援の奨学金も申請した。

奨学金 日本学生支援機構、日本政策金融公庫、オリコ学費サポートプラン、新聞奨学生、

公益社団法人 東京都私学財団 東京都育英資金貸与事業

「高等教育の修学支援制度」認定校として更新申請

来年度以降、成績管理システム等の導入検討

## 3) 施設修繕・整備

学内施設の修繕・整備を行い、充実した教育環境を整える。

屋上防水工事

ブロック塀の補修2次工事

地下ホール空調機新規入替

## 4) 行事について

学生が参加できる公演の機会を設け、進路決定に役立つ行事を充実させる。

また今年度は新型コロナの影響もあり、開催方法など十分に検討し、できる限りの感染対策をしながら行う予定。

学園祭について、オンライン配信のみで開催予定

- プレシヤスオーディションについて、来校とオンライン配信を併用して開催予定
- 授業の集大成としての有料公演を一部実施予定
- ミュージカルプロジェクトは、ダンスミュージカル「千の風」を上演予定
- コースの枠を超えた総合舞台制作を4公演実施予定

## 5) 広報・学生募集

募集方法・ツールを見直し、プロモーションの強化を図る。

- 専門学校公式動画を作成
- チャットボットを試験的に運用
- 情報管理データベース「スタディサプリ」を継続して使用
- 広報コンサルタントを継続して導入

以上